

漁海況 情報

令和7年(2025年)8月5日 第7号(通巻794号)

山口県水産研究センター 外海研究部

〒759-4106 山口県長門市仙崎2861-3

TEL 0837-26-0711 FAX 0837-26-1042

E-mail a16402@pref.yamaguchi.lg.jp



海鳴りネットワーク <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

2025年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

◆国立研究開発法人 水産研究・教育機構から「2025年度 日本海スルメイカ長期 漁況予報」の発表がありましたので、お知らせします。

◆西部日本海海域（右図を参照）における今後（2025年8～12月）の見通し

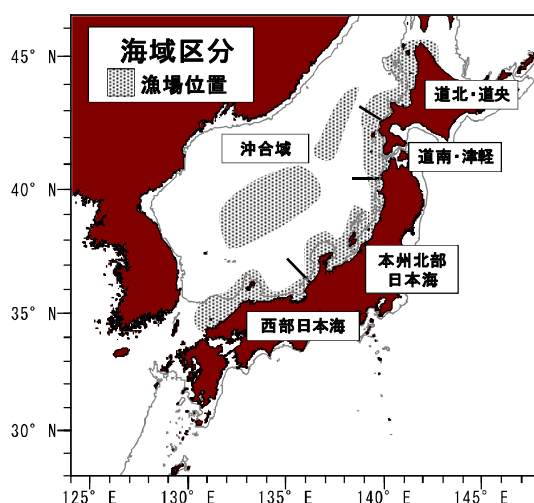
◇来遊量および漁況：

前年および近年平均を下回る。

◇漁場：

近年同様、漁場形成は不安定である。

※「近年」は最近5年間(2020～2024年)



◆予報の説明（西部日本海海域（小型いか釣り））

◇ 2025年6月上旬～7月中旬に実施した日本海スルメイカ漁場一斉調査（以下、いか釣り調査とする）の結果、6月までの日本海沿岸各地の漁況の経過、冬季発生系群を主体とした太平洋側への来遊状況（2025年度 第1回 太平洋スルメイカ長期漁況予報）、直近の漁況の情報、また、9月までの海況予報（2025年度 第2回 日本海海況予報）を参考として、今期の漁況を予測した。

◇ 本海域では、10月以降に沖合から南下する群が漁獲の主対象となる。近年は局所的に漁場が形成される場合もあるが不安定で継続しにくい。

◇ 本年の5月～6月の漁獲量は前年を上回り、近年平均並であった。しかし、5月～6月の漁獲の中心であった能登半島西部の漁場および山陰から九州にかけての漁場は、7月にはほとんど見られなくなった。また、10月以降の来遊量の目安となる、いか釣り調査における全調査点の平均CPUEは、前年および近年平均を下回った。以上のことから、本予報期間の来遊量は、前年および近年平均を下回ると予測される。

◆予報の掲載先URL

<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/>